

◆◆◆ 事務事業評価票 ◆◆◆

番号	枝番号	事務事業名	部名	課名	所属長名	
		特定保健指導事業	福祉生活部	健康課	藤井清道	
基本事項	基本政策	01	ともに支え合い、笑顔輝くあたたかなまち(健康・子育て・福祉)	会計	02	国民健康保険特別会計
	政策	03	自立生活を支える健康づくりの推進	財	08	保健事業
	施策	02	保健サービスの充実	務	01	特定健康診査等事業費
				科	01	特定健康診査等事業費
			目			
<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度		事業開始年度	平成20年度	完了予定年度	未定年度	<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時

事業の対象(誰に対して・何に対して)		事業の目的(どういう状態にしたいのか)	
特定健診の結果、特定保健指導の対象となった者、またその予備群		生活習慣を改善して、メタボリック症候群を改善することにより、将来の生活習慣病の悪化防止を図る。	
事業の内容(目的達成のための手段・方法)			
健康教室や健康相談、訪問指導により、特定保健指導を行う。 特定保健指導は、健診結果や問診結果により支援レベルが積極的支援と動機づけ支援に分かれている。各支援レベル毎に指導の量が定められているため、対象者の支援レベルにあわせた支援を行う。健診結果と生活習慣の関連性を理解したうえで、個々の改善目標、行動計画(栄養や運動面の具体的な取組)を立案し、実践した後、6か月後に評価を行う。			
補助・単独 <input checked="" type="checkbox"/> 国・県の補助金有り <input type="checkbox"/> 市単独			
<input checked="" type="checkbox"/> 義務実施事業 ① 根拠法令要綱等 高齢者の医療の確保に関する法律第24条 <input type="checkbox"/> 努力義務実施事業 ② 根拠法令要綱等 <input type="checkbox"/> 任意実施事業 ③ 根拠条例等 <input type="checkbox"/> 単費上乗せ有り(又は②の場合) 根拠条例等			
正規職員が関与すべき法的義務性 <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(該当業務:) 法令名・根拠条文:			
実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担金 <input type="checkbox"/> その他() 委託の場合 <input checked="" type="checkbox"/> 入札 <input type="checkbox"/> 随意契約(契約先:)			

◆◆◆ 総合計画・行動計画 施策シート ◆◆◆

			優先度	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C
展開方針(年度別事業内容)	平成23年度(参考)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	以降	
総事業費	千円	千円	千円	千円	千円	千円
今後の方向性			今後の方向性の具体的内容			
<input type="checkbox"/> ① 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> ② 拡充 <input type="checkbox"/> ③ 改善・見直し <input type="checkbox"/> ④ 縮小・廃止						
進捗状況		進捗状況の具体的内容・未着手の理由		市長指示事項等		
<input type="checkbox"/> ① 計画どおり(以上)進行 <input type="checkbox"/> ② 計画よりも遅延 <input type="checkbox"/> ③ 未着手						
企画政策課 意見				行動計画掲載(企画政策課) <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C		

		単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
事務事業 データ	事業費(予算額または見込額 (A'))	千円		1,135	968	968	968
	特定財源			1,135	968	968	968
	一般財源			0	0	0	0
	事業費(決算額) (A)			836			
	特定財源			836			
	一般財源			0			
	一般職員所要人員 (B)	人		0.26			
	一般人件費[平均給与×(B)] (C)	千円		2,026			
	嘱託・臨時職員所要人員 (D)	人		0.00			
	嘱託・臨時人件費[平均賃金×(D)] (E)	千円		0			
総コスト[(A)+(C)+(E)] (F)	千円		2,862				
受益者負担額 (G)	千円		0				
受益者負担率[(G)/(F)] (H)	%		0.0%				
活動指標 (目標)	① 名称	特定保健指導実施人数	目標値				
	実績値			61人			
② 名称	特定保健指導実施率	目標値		25.0%			
	実績値			17.7%			
成果指標 (目標)	① 名称	参加者の生活習慣改善率	目標値		70.0%		
	実績値			89.7%			
② 名称	初回支援を行った者のうち、6か月後の評価で生活改善がみられたものの割合	目標値					
	実績値			128.1%			
③ 名称		目標値					
	実績値						
④ 名称		目標値					
	実績値						
⑤ 名称		目標値					
	実績値						
⑥ 名称		目標値					
	実績値						
⑦ 名称		目標値					
	実績値						
⑧ 名称		目標値					
	実績値						
⑨ 名称		目標値					
	実績値						
⑩ 名称		目標値					
	実績値						
⑪ 名称		目標値					
	実績値						
⑫ 名称		目標値					
	実績値						
⑬ 名称		目標値					
	実績値						
⑭ 名称		目標値					
	実績値						
⑮ 名称		目標値					
	実績値						
⑯ 名称		目標値					
	実績値						
⑰ 名称		目標値					
	実績値						
⑱ 名称		目標値					
	実績値						
⑲ 名称		目標値					
	実績値						
⑳ 名称		目標値					
	実績値						
㉑ 名称		目標値					
	実績値						
㉒ 名称		目標値					
	実績値						
㉓ 名称		目標値					
	実績値						
㉔ 名称		目標値					
	実績値						
㉕ 名称		目標値					
	実績値						
㉖ 名称		目標値					
	実績値						
㉗ 名称		目標値					
	実績値						
㉘ 名称		目標値					
	実績値						
㉙ 名称		目標値					
	実績値						
㉚ 名称		目標値					
	実績値						
㉛ 名称		目標値					
	実績値						
㉜ 名称		目標値					
	実績値						
㉝ 名称		目標値					
	実績値						
㉞ 名称		目標値					
	実績値						
㉟ 名称		目標値					
	実績値						
㊱ 名称		目標値					
	実績値						
㊲ 名称		目標値					
	実績値						
㊳ 名称		目標値					
	実績値						
㊴ 名称		目標値					
	実績値						
㊵ 名称		目標値					
	実績値						
㊶ 名称		目標値					
	実績値						
㊷ 名称		目標値					
	実績値						
㊸ 名称		目標値					
	実績値						
㊹ 名称		目標値					
	実績値						
㊺ 名称		目標値					
	実績値						
㊻ 名称		目標値					
	実績値						
㊼ 名称		目標値					
	実績値						
㊽ 名称		目標値					
	実績値						
㊾ 名称		目標値					
	実績値						
㊿ 名称		目標値					
	実績値						

評価実施：平成24年度

1次評価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性	3	実施主体の妥当性	2
	総合評価	直接のサービスの相手方	2	受益者負担の適切さ	5	市民ニーズの把握	3
総合評価	評価結果	生活習慣病の悪化を防止し、脳卒中や心筋梗塞等の重病を予防していくという個人の健康管理のみならず、将来の医療費を抑制するためにも、特定健診とあわせて継続して実施していく必要がある。指導を実施した者には生活改善の効果がみられているが、実施率の低迷が課題となっている。					
	判断理由	23年度まで実施していた2教室「スリムあつぷ教室」と「減る脂うれしいサロン」を一本化し、教室の内容を充実させる。運動と栄養を詳しく学習できるよう運動コースと栄養コースを設け、対象者のニーズにあわせた内容に改善し、参加率の向上を図っていく。					
総合評価	改善策						
	改善策						

2次評価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性	2	実施主体の妥当性	2
	総合評価	直接のサービスの相手方	2	受益者負担の適切さ	5	市民ニーズの把握	3
総合評価	評価結果	24年度については対象者のニーズにあわせ、特定保健指導の内容を「運動コース」と「栄養コース」の選択制で参加できるように見直しすることで参加率の向上を目指している。特定保健指導委託料については、選択制の「運動コース」のみを委託することにより委託料の経費節減を図っている。					
	判断理由	特定保健指導の実施率の向上を図る必要があるため、特定保健指導の対象者に対し、どのようにしてPRしていくかが今後の課題である。					
総合評価	改善策	特定保健指導の必要性を理解してもらえるように、広報紙及び防災無線を活用することをはじめ、特定健診のPRに合わせ、特定保健指導についても保健衛生推進委員と連携し協力を求めるなど、今後とも試行錯誤を重ねながら、新たな手法でPRを検討するとともに、当該事業における需用費などの必要経費についても、他補助事業を活用することで経費節減を図っていただきたい。					
	改善策						

3次評価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	事業の必要性	実施主体の妥当性
	総合評価	直接のサービスの相手方	受益者負担の適切さ	市民ニーズの把握
総合評価	評価結果			
	判断理由			
総合評価	改善策			
	改善策			